

交換留学とは？

新潟大学と海外の大学(協定校)との間で結ばれている学生交換協定に基づき、1学期間(約半年)または2学期間(約1年間)、協定校へ留学する制度です。留学期間は新潟大学の修業年限(在学年限)にカウントされ、「授業料不徴収協定」が結ばれている場合、新潟大学に授業料を納めていれば、留学先大学では授業料を支払う必要がありません。協定には、大学間交流協定(大学と大学との間で締結している協定)と部局間交流協定(学部や研究科単位で締結している協定)があり、それぞれの対象や問い合わせ先は以下のとおりです。

交換留学の種類	対象	問い合わせ先
大学間交流協定校への交換留学	全学の学生	学務部国際交流推進課
部局間交流協定校への交換留学	当該学部・研究科の学生	所属学部・研究科学務係

以下、全学の学生が対象となる大学間交流協定校への交換留学について記載しています。部局間交流協定校への交換留学については、所属学部・研究科の学務係にお問い合わせください。

大学間交流協定校への交換留学 5つのポイント

ポイント1 全学部・研究科の学生が応募できる!

ポイント2 応募のチャンスは年に2回!

2～3月開始の交換留学 … 前年の6～7月頃に募集

8～9月開始の交換留学 … 前年の10～11月頃に募集 ※応募スケジュールは変更になることがあります。

ポイント3 留年なしでの留学も可能!

留学期間中に取得した単位は、所属学部・研究科に認められれば単位互換が可能です。計画的に留学、授業を履修すれば、留学期間を含めて「4年間で卒業」することもできます。(※ただし、所属学部・研究科によって異なるので要確認。応募前に、卒業までのカリキュラムや単位について、所属学部・研究科の学務係や教員と十分相談してください。)

ポイント4 経済的負担が少ない!

新潟大学に授業料を納めることで、留学先大学では授業料を納める必要はないため、留学費用の負担が少なく済みます。また、所定の要件を満たしている場合は、返済不要の奨学金を受給しながら留学可能です。(奨学金については、詳しくはp.18-19へ!)

ポイント5 手続き面でのサポートあり!

大学間交流協定校への交換留学は、留学が正式に決定するまで学務部国際交流推進課が留学先大学と連絡を取りながら手続きを進めます。また、留学手続きオリエンテーションや渡航前オリエンテーションにて、手順等を確認することができます。



主な留学先

国・地域	大学名	国・地域	大学名	国・地域	大学名
アメリカ	ロードアイランド大学	タイ	チュラロンコン大学 他	ドイツ	ミュンスター大学 他
アメリカ	カリフォルニア州立大学ソノマ校	アジア太平洋地域	UMAP (アジア太平洋大学交流機構) ※	フランス	ナント大学 他
オーストラリア	シドニー工科大学	中国	黒竜江大学、中央民族大学 他	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
韓国	仁荷大学、漢陽大学	台湾	国立中央大学 他		

上記以外にも様々な協定校があります。協定校の一覧は、以下のホームページで確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/internationaldata/partner/>



※新潟大学はUMAPと大学間交流協定を締結しているため、UMAP参加大学も交換留学対象となります。

応募前 ～交換留学したいと思ったら～

目的・目標を明確にする

- どのような目的・目標で留学するのか。具体的に何を勉強したいのか。
- どの国で、どのような大学で学びたいか。留学期間は？いつ留学するのがベストか？
- 留学は、その後の自分の学びと進路において、どのような位置づけにあるのか。

留学先大学を選ぶ

- 学修したい内容を学ぶことができるか。
- 留学先国・地域の生活環境に適応できそうか。
- 留学先でかかる費用、現地の物価
- どのくらいの語学能力が要求されるのか
- 所属する学部・研究科のカリキュラムを履修するうえで問題はないか。

後悔しない留学をするには「情報収集」から!

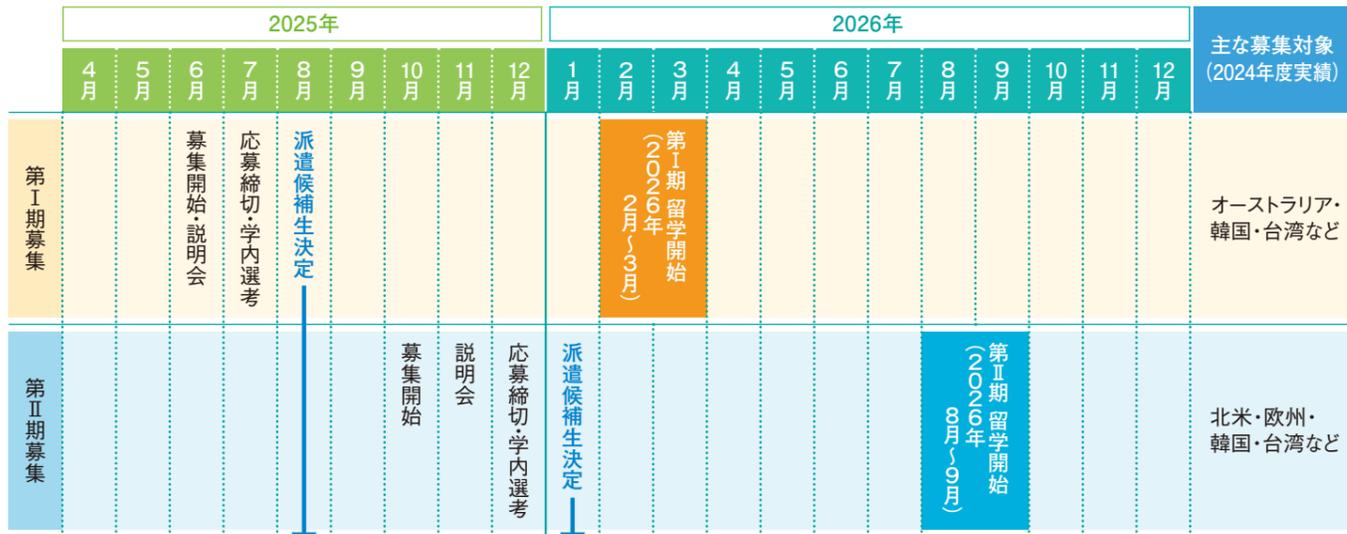
1. 新潟大学HPの交換留学のページ(協定校のファクトシートや留学体験談などを読んでみる)
2. 興味のある協定校の公式ウェブサイト(交換留学生向けの情報、特に、履修できる授業の情報など)
3. 担当教員や所属の学務係に相談する
4. 留学ガイダンス・募集説明会に出席する
5. 留学相談を活用する …他



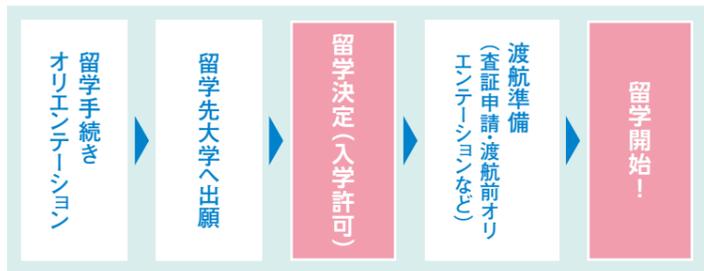
ポイント!

交換留学には、情報収集能力は不可欠! まず自分で調べてみましょう。留学中、自分の身を守り、充実した留学生活を送るうえでも役立ちます。

大学間交流協定校への交換留学 募集から留学開始までの流れ



※スケジュール、募集対象は変更となる可能性があります



交換留学の費用

留学に必要な費用は、留学する国や留学期間、滞在方法などにより大きく異なります。帰国学生の実際にかかった費用の概算は、国際交流推進課でお伝えすることが可能です。ご家族と事前によく相談し、十分な資金計画を行ったうえで応募してください。

留学にかかる費用の目安

- 1年間(2学期間)の場合、おおむね120万円から280万円程度。
(内訳) 渡航費、住居費、現地での生活費、教科書代、学研災付帯海学留学保険料及び危機管理サービス料、ビザ取得費用など
- その他、現地保険料(現地の大学が定める保険に加入が必須となる場合)や授業料(任意で附属の語学学校に通う場合)がかかる場合がある。



大学間交流協定校への交換留学について詳しく知りたい方は、ホームページを確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/>



その他セメスター留学

右の協定校については、新潟大学に授業料を納める交換留学ではなく、協定校に授業料を納めることにより1学期以上留学することが可能です。

※協定校が語学要件・成績要件を定める場合、その要件を必ず満たさなければなりません。

大学間交流協定校	(参考)左記協定校は、長期休業中の海外留学ショートプログラムの研修先でもあります。あわせてご参照ください。
カナダ・アルバータ大学	カナダ・サマーセミナー → p.10
ニュージーランド・オタゴ大学	オタゴ大学英語研修 → p.11
オーストラリア・西シドニー大学	西シドニー大学国際交流プログラム → p.11

《HP》「新潟大学 国際交流・留学」⇨「海外への留学」⇨「交換留学・その他セメスター留学」⇨「その他(協定校への交換留学によらない留学)」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/fee-paying/>



留学までのRoadmap

先輩の声 交換留学のための準備について

理学部 大谷内 颯斗 さん

2022年8月 西シドニー大学国際交流プログラム(オンライン) ※2022年度はコロナによりオンラインのみ開催
2023年8月～2024年5月 カリフォルニア州立大学ソノマ校交換留学

大学入学時は、留学をして、国際的に活躍できるエンジニアになるという目標を掲げ、専門的なトピックについても英語で議論できる力を身につけたいと考えていました。そのため、副専攻(現・マイナープログラム)として「外国語(英語)」を選択し、IELTSやTOEFL対策を含む授業を履修しました。この副専攻は英語を活用するスキルを磨く良い機会となりました。また、半年間毎日オンライン英会話を続け、スピーキング力を強化しました。結果、1年次TOEIC 585点だった英語力を、3年次にはIELTS6.0まで伸ばし、希望する大学の英語要件を満たすことができました。また、大学3年夏に「西シドニー大学国際交流プログラム」に参加し、自分の英語力に課題を感じたことが交換留

学を志望する大きなきっかけとなりました。このプログラムでは、タイや中国の学生とも交流し、異文化コミュニケーション能力を高めることができました。カリフォルニア州立大学ソノマ校では、物理学の専門科目を履修し、英語での講義やディスカッションに挑戦しました。最初は言語の壁に直面しましたが、準備を重ねたおかげでスムーズに適応し、専門的な内容を英語で議論する力を向上させることができたと思います。留学を目指す皆さんには、目標を明確にし、その達成に向けた準備を早めに進めることをおすすめします。自分は準備のため重ねた努力が、留学先での成功につながると思えました。



寮のルームメイトの実家で

語学要件について 早めの準備をオススメ!

協定校が語学要件を定めている場合は、**出願時までに必ず語学要件を満たす必要があります**。英語圏への交換留学に必要なTOEFL iBTやIELTSはSpeakingやWritingを含むため、早めの準備・受験をお勧めします。また、協定校が語学要件を定めていない場合でも、語学検定試験を計画的に受験し資格を取得することで、各種奨学金制度や学内選考の審査で有利になるほか、留学中の学習効果アップが期待されます。

英語圏への留学

英語圏への留学の場合、一般的にはTOEFL iBT、IELTS (Academic Module) のスコアが必要です。TOEICや英検は日本の就職活動等では広く用いられますが、海外の大学への留学の際には語学能力証明として認められないケースも多いため、注意してください。

	TOEFL iBT	IELTS (Academic Module)
概要	TOEFL iBTはアカデミック領域における「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を総合的に測定する英語能力測定試験で、英語圏の全ての大学・大学院で、英語力の証明として利用されており、世界160か国、13,000以上の大学・大学院・その他機関で活用されている。	イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められており、米国でも広がっている。140か国、合計11,000以上の機関が認定しており、大学・大学院で学ぶ場合はAcademic Moduleの結果が必要となる。
スコア	0～120 (各セクション0～30)	1.0～9.0 (0.5ポイント刻み)
試験日	ほぼ毎週末、年間50日程度(全国各地会場)	ペーパー版: 東京会場は毎月4回程度
受験料	US \$245	27,500円
スコア有効期限	2年間	2年間

英語圏外への留学

留学先の大学によって、必要な語学能力の基準が設定されている場合があります。下表に示す語学能力試験は一例ですが、一般的に日本人向けの検定(例:ドイツ語技能検定試験等)は海外の大学への留学の際に認められないケースも多いため、注意してください。

言語	語学能力試験
韓国語	TOPIK (韓国語能力試験)
中国語	HSK (漢語水平考試)
フランス語	DELF・DALF/TCF/TEF
ドイツ語	Goethe Zertifikat (ゲーテ・ドイツ語検定試験) / Telc/ TestDaF



語学要件の例	TOEFL iBT	IELTS (Academic Module)
アメリカ・ロードアイランド大学	79以上	6.5以上
アメリカ・カリフォルニア州立大学ソノマ校	61以上	6.0以上

※ロードアイランド大学は、「英検準1級」などの上記以外の試験の要件もあります。詳細はファクトシートを確認して下さい。

※キャンパスや専攻によっても要件が異なります。

※シドニー工科大学は、2025年度募集より英語要件が見直しとなる予定です。最新情報は交換留学のホームページや募集説明会でご確認ください。

Check!

新潟大学では長期留学を目指す学生向けに、TOEFL iBT Preparation I & II、IELTS Preparation I & II、iStep、iStep Extension、中級CALL(留学準備)、中級EAP、上級EAPの英語科目が開講されています。詳しくは、英語履修案内を確認してください。